

# 貧困、犯罪、病気、戦争、核兵器… 悩める地球に希望の光を届けたい

謹んで

この作品は主に「命」と「お金」のあり方を問うものです。  
すべてはつながっているという世界観に基づくので、  
「労働」や「教育」やその他いろいろ欲張って詰め込んでいます。  
問うだけでなく異星の解答例もお付けしました。  
「戦争」や「核兵器」をなくす方法も。



One stone from the moon

## 著者 桑田 泰秀

1958年、兵庫県生まれ。兵庫県立佐用高校卒。上智大学文学部哲学科中退。  
汎用コンピュータのセンターオペレーター、プログラマー、SE、外資系インテリアデザインソフトの国内担当を経て、2008年よりフリーランスのIT技術者（技術翻訳、3Dデータ作成、WEBページ作成、マニュアル作成など）。

## もくじ 1 月の分身 (抜粋)

### 2 ねずみの通り穴

### 3 月の探求

- ① 命が尊いってほんまなん？
- ② なんで悪があるん？

### 4 月の書き置き

- 1 新月のページ(生命と悪について)
- 2 半月のページ(戦争について)
- 3 満月のページ(子どもたちについて)

### 5 三つの星

- ★ 一つめの星
- ★♪ 一つめ半の星
- ★★ 二つめの星
- ★★★ 三つめの星

タマ子とフクちゃん／お金の経済／脱皮後の世界  
よくある質問コーナー／循環センター

### 6 付け足し

月の欠片(かけら)が地球に旅をした。そこは、広大久遠の銀河の一点に浮かぶ生命の星。46億年前に生まれ、やっと20万年前、人が大地を歩いていた。  
23,000分の1(20万年/46億年)の時間で人は、地表を作り変え、文明を築き、宇宙にも少し飛び出した。一方で、貧困も犯罪も戦争も絶えない。核兵器もなくせない。なぜ悪があるのだろう？  
しかし、人は疑いを振りほどき、生活に追われ、学校に戦場に向かう。命が尊いって本当だろうか？なぜ悪があるのだろう？  
月が、捨て犬のポチが、鶏のタマ子が、熱くしなやかに答えを探ります。

# 月から一石

地球で月も考えた  
「生命も経済も元気になる未来」

桑田泰秀  
Kuwata Yasuhide

貧困、犯罪、病気、戦争、核兵器……  
悩める地球に希望の月光を届けたい

謹んで

One stone from the moon

定価 本体1500円+税 あけび書房

四六判・並製・228ページ 本体1500円 ISBN978-4-87154-182-4

あけび書房

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5  
TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609  
http://www.akebi.co.jp akebi@s.email.ne.jp

キリトリ線

ご購入のうえ、最寄りの書店が取扱先、あるいはあけび書房が著者へご注文下さい。

あけび書房 TEL03-3234-2571 FAX03-3234-2609

注文書	書店印・取扱先	月から一石 地球で月も考えた「生命も経済も元気になる未来」 ( )冊 注文します	
	その他・備考		
	氏名・団体名	ご担当者 氏名	
	送り先 〒( )-( )	電話 ( )	